



かごしまよかところ100選 スポット

()内は本のページ番号

- 1 出水麓武家屋敷群 (浪漫の旅56)
- 2 入来麓武家屋敷群 (浪漫の旅58)
- 3 知覧武家屋敷群 (浪漫の旅60)
- 4 茶美豚 (食彩の旅134)
- 5 志布志武家屋敷群 (浪漫の旅66)

※営業時間や休業日などは変更となる場合もありますので、おでかけ前に各施設にお問い合わせください。



かごしま
よかところ
100選

旅

ルリカケス
vol.42

Tabi-Rurikakesu

かごしまよかところ旅

旅ガラスのごとく広い県土を飛び回り、『かごしまよかところ100選』シリーズに掲載された中から、おすすめの観光スポットを紹介します。

いずみふもと 1 出水麓武家屋敷群 出水市

出水麓武家屋敷群は、薩摩藩内で最も規模が大きく、藩内のほかの麓の町づくりは出水にならったと言われていいます。広さは約60ヘクタール。当時の町並みがほぼそのまま残っており、碁盤の目のように区切られた通りに玉石を積んだ石垣や武家門など重厚で趣のある武家屋敷が並んでいます。肥後と接し、藩の玄関口として重要な軍事的拠点であった出水には、武士の心構えを表した「出水兵児修養掟」が、青少年への教えとして今に引き継がれています。平成23年4月から「税所邸」が一般公開される予定です。

住所：(公開武家屋敷 竹添邸) 出水市麓町5-17
(公開武家屋敷 武宮邸) 出水市麓町8-25
開館時間：午前9時～午後5時 年中無休
料金：無料 交通：JR出水駅から車で約5分
出水市観光交流課 ☎0996(63)4061



風格のある町並みをのんびりと歩いてまわるのはもちろん、牛が引く御所車に乗って、武家屋敷群内を優雅に観光できる「いずみ観光牛車」もお勧めです！

一般公開されている築150年ほどの「竹添邸」では、常駐している管理人さんから邸内の説明を聞くことができます。大河ドラマ『篤姫』の撮影が行われました。

かもろう 蒲生武家屋敷群 始良市

蒲生麓は、2つの川を外堀のように利用した町割で、西馬場や八幡馬場など馬場と呼ばれる当時の通りが、ほぼそのままに残っています。石高十石以上の屋敷に造られたという武家門や石垣が残る、石畳の武家屋敷通りは、何だかのどかで風情があります。

住所：始良市蒲生町上久徳
交通：始良市蒲生総合支所からすぐ
始良市商工観光課 ☎0995(66)3111



かもろう紅茶

かもろう紅茶は「べにかおり」や「はつもみじ」と呼ばれるアッサム種の品種で、日本の風土に合うように品種改良されたもの。衰退していた蒲生町での紅茶製造を蒲生町観光協会が中心となり復活させました。蒲生町新留地区の畑で無農薬で育てられたかもろう紅茶は、やわらかな香りとほのかな甘みが特長。何も入れなくても甘みがあって、とっても飲みやすい！ぜひお試しください。

茶句庭 ながのでは、かもろう紅茶をふんだんに使ったさまざまなスイーツが楽しめます。サクサクの香ばしいクッキーや、なめらかなプリンが口の中にさわやかな紅茶の香りと味が広がり、あと味すっきりでおいしい！！あんこに、刻んだかもろう紅茶を混ぜた「焼かるかん」もお勧めです。

住所：始良市蒲生町北266-1
営業時間：午前8時～午後8時
(取材協力)茶句庭 ながの ☎0995(52)0013



かもろう紅茶(60g)700円、紅茶のロールケーキ(1本)1,350円、なめらか紅茶プリン290円、かもろう紅茶くっきー350円、焼かるかん120円、紅茶マフィン130円

歴史が香る武家屋敷を歩く



知覧武家屋敷群の通り

江戸時代、薩摩藩では藩主の住む鹿児島城(鶴丸城)を中心に、領地を「外城」という行政区画に分け、各外城に武士を分散させて藩内を統治していました。武士たちは「麓」と呼ばれる武家集落に住み、いざという時にはそのまま軍団を形成する仕組みでした。県内には各地に武家屋敷群が残っています。時代を超えて今もひっそりとたたずむ武家屋敷群をめぐり、往時をしのびながらゆったりと過ごしてみませんか？お薦めのスポットを紹介します。

3 知覧武家屋敷群 南九州市

母ヶ岳の優雅な姿を背景に麓一帯に家並みが広がる知覧武家屋敷群。石垣ときれいに刈り込まれた生垣が続く静かで美しい通りを歩くと、自然と心が落ち着きます。中国や琉球



の庭園文化の影響を受けた美しい庭園は、各屋敷でテーマが異なり、地区内の7つの庭園が国の名勝に指定されています。3月31日まで「知覧のひなまつり」を開催中。3月19日(土)・20日(日)には武家屋敷庭園などがライトアップされます。



知覧独特の建築文化といわれる知覧型二ツ家。おひなさまが飾ってありました。

住所:南九州市知覧町郡

営業時間:午前9時~午後5時 年中無休

料金:高校生以上500円、小・中学生300円

交通:指宿スカイライン知覧ICから車で約15分

知覧武家屋敷庭園有限事業責任組合 ☎0993(58)7878

南九州市商工観光課 ☎0993(83)2511

2 入来麓武家屋敷群 薩摩川内市

鎌倉時代から江戸時代にかけて形成された集落。国の重要伝統的建造物群保存地区に選定されており、樋脇川の自然石を使って造られた美しい玉石垣や武



家門が立ち並んでいます。素朴な雰囲気のある玉石垣の上にはイヌマキや茶が植えられ、石垣と緑の色合いがきれいです。鎌倉時代の武家屋敷に設けられたかやぶき門は、入来麓の代表的な景観です。



かやぶき門

住所:薩摩川内市入来町浦之名麓地区

交通:JR川内駅から車で約30分

薩摩川内市教育委員会文化課 ☎0996(23)5111

5 志布志武家屋敷群 志布志市

志布志湾を臨み、古くから文化が栄えた志布志。中世には戦闘時の砦の役割をもつ4つの山城がありました。麓には現在20軒ほどの武家屋敷が残って



います。屋敷には見事な庭園があり、国の名勝に指定されている「天水氏庭園」では江戸時代中期に造られた美しい庭園を見学できます。また、志布志には多くのわき水があり、武家屋敷にある井戸に水をくみに訪れる人も。地元の観光ガイドの方とまち歩きしてみませんか。

住所:志布志市志布志町帖

交通:JR志布志駅から車で5分

志布志市総合観光案内所 ☎099(472)2224

4 茶美豚 南九州市

鹿児島県産のお茶から抽出した「カテキン」と「サツマイモ」を配合した飼料を食べて育った豚、茶美豚。ビタミンEや、うま味成分のイノシン酸が多く含まれ、コレステロールは少なめ、カテキンの消臭作用で豚肉独特の臭みを抑えたのが特長です。JAレストランちらん亭の茶美豚のヒレカツ定食はボリュームたっぷり。サクサクに揚がった衣に包まれたお肉は、軟らかく、風味豊かなうま味が口中に広がります。茶美豚のロースカツ定食もあります。



住所:南九州市知覧町郡17861 営業時間:午前10時30分~午後3時

(取材協力)JAレストランちらん亭 ☎0995(52)0013